

2017年6月6日

会 員 各 位

日本広報学会第23回研究発表全国大会開催のご案内

日 本 広 報 学 会
理事長 小早川 護

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、6月6日開催の総会において、第23回研究発表全国大会を11月18日（土）、19日（日）の両日、秋麗の京都で龍谷大学社会学部をホストとして開催することが正式に決定されました。ここにご報告申し上げると共に、以下のとおりご案内申し上げます。

3年連続で「外国人観光客が訪れたい観光地」第1位にランキングされている伏見稻荷大社¹。今回の会場は、この伏見稻荷にほど近い龍谷大学深草学舎です。紅葉の盛りを迎える文化首都・京都で、広報学の新しい展望について会員の皆さまと議論を深めたいと存じます。

「日本広報学会の将来像と近未来行動計画」（2016年4月6日付）において提言されたとおり、本学会は「実務者と理論・研究者の交流・協創の拠点となる」「広報・PRの理念の中心にある、組織の開放性と対話の精神と行動を社会に醸成していく」——とする「将来像」を会員の皆さまと共に描こうとしています。

今回の大会ではこうした精神の下、激動の世界情勢の中で変容を迫られる社会、組織、コミュニケーションのあり方について、できるだけ幅広い視野と長い時間軸で捉え直し、これからの広報学の可能性を探りたいと思います。そのために、統一論題を「世界新秩序への模索と広報学の射程」としました。

もちろん、統一論題に限らず、皆さまの研究・実務の現場から多彩な研究成果をご披露いただければと存じます。奮ってご参加・ご発表をいただきますよう、お願い申し上げます。

1. 統一論題 「世界新秩序への模索と広報学の射程」

英国のEU離脱や米トランプ政権誕生に象徴されるように、我々の世界は新たな秩序を模索する過程に入ろうとしています。人間社会は世界を覆う断絶を乗り越えるために、新たな合意形成のモードとメカニズムを希求しているといえましょう。

そうした中、双方向性、倫理性、信頼の醸成を基本機能としてきた広報的コミュニケーションへの期待は今までになく高まっています。すなわち、これまで本学会において蓄積されてきた広報／PR／CCに関する研究に加えて、宗教、文化、教育、消費など人間の生活世界全般を視野に入れて広報学を展開し得る可能性が高まってきたといえるのではないのでしょうか。

とくに「文化的多様性」を広報学としてどう捉えるかは、極めて大きなテーマになってきています。企業マネジメント、政治的ガバナンス、行政的アクションをはじめとする多くの社会的場面において、この文化的多様性を前提とする広報が求められるように

¹ トリップアドバイザー「外国人に人気の観光スポット 2016」による

なっているからです。文化の問題を広報学の立場から捉え直すべきときです。

また、多様な主体が緩やかに連携する関係の中での広報をどう扱うかも広報学にとってアクチュアルな課題となってきました。すなわち、デジタル空間（例えばSNS上）における広報や地域社会における広報の問題をさらに深く追求する必要があります。

第23回大会は文化首都を標榜する京都において開かれます。開催校の龍谷大学は世界最大の仏教系総合大学です。そのような空間に身を置きながら、「断絶を乗り越え、社会的連携を促すための総合的なコミュニケーション科学」として、広報学の可能性を多面的に討論することといたしましょう。

2. 会期

2017年11月18日（土）10:30～20:00（懇親会を含む）

11月19日（日） 9:00～16:00

3. 会場

龍谷大学 深草学舎 ^{わげん}和顔館 （〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67）

<http://www.ryukoku.ac.jp/>

（連絡先）龍谷大学社会学部 築地達郎研究室

077-543-5111（代表）内線7642 tsukiji@soc.ryukoku.ac.jp

（※社会学部は滋賀県大津市の龍谷大学瀬田学舎にあります。市外局番の間違いにご注意ください）

4. 全体スケジュール

11月18日（土）

- 10:00～10:30 受付（龍大深草学舎・^{わげん}和顔館）
- 10:30～11:30 開会式、学会賞発表、表彰
- 11:30～12:30 特別講演
- 12:30～13:30 昼休み
- 13:30～16:30 基調講演＋統一論題セッション
- 16:30～18:00 パネル討論（門川京都市長他）
- 16:00～18:00 ポスター展示
- 18:20～20:00 懇親会（紫英館）

11月19日（日）

- 9:00～12:10 ポスター掲示
- 9:20～12:20 口頭発表（和顔館内3会場：18件）
- 12:20～13:30 ポスター立会説明
- 12:20～13:30 昼食（※食堂&構内コンビニは休業。希望者に弁当を手配します）
- 13:30～15:30 口頭発表（和顔館内3会場：12件）（合計：30件設定）
- 15:30～16:00 閉会式（和顔館）
 - * 英語での口頭発表も歓迎します
 - * 「論文の書き方」セミナー（20分）を設ける予定です

秋麗の京都へようこそ

交通手段と宿泊先のご案内

秋の京都は観光のトップシーズンとなります。11月下旬は紅葉の盛りを迎え、特に混み合います。まずは一日も早くホテルのご予約を。

[京都への交通手段]

新幹線：東海道新幹線の全列車が京都駅に停車します。

在来線：北陸、南紀、山陰、丹後、飛騨方面から直通の特急列車があります。

高速バス：全国から京都駅八条口あるいは京阪三条駅をターミナルとする高速バスが運行されています。

航空機：

①伊丹空港（大阪国際空港）から

- ・ 大阪モノレール利用：阪急電鉄・京都線、京阪電鉄・本線に接続しており、京都市内に直接乗り入れることができます。（所要時間60～100分）
- ・ 空港リムジンバス利用：「K」乗り場から京都駅八条口行きが至便です。（所要時間約50分）

②関西国際空港から

- ・ JR利用：特急「はるか」で京都駅に直行します。（所要時間約80分）
- ・ 私鉄利用：南海電車・大阪市営地下鉄・阪急電鉄の共同企画きっぷ「京都アクセスきっぷ」が、乗り換えがありますが、比較的安価です。（1,230円、所要時間約120分）
- ・ 空港リムジンバス利用：「KY」乗り場から京都駅八条口行きがあります。（所要時間105分）

[ホテルについて]

ちょうど紅葉観光のトップシーズンですので、全ランクのホテルがほぼ埋まる可能性が高いと思われます。各旅行会社の企画商品やホテル予約サイトなどを活用して、一日も早くホテルを予約されることを強くお奨めします。

- ✓ 龍谷大学深草学舎（伏見区深草）の徒歩圏内にあるホテルは1軒（京都アーバンホテル）のみです。
- ✓ 京都市内の場合、「河原町・東山周辺」（京阪電車利用）、「京都駅周辺」（地下鉄烏丸線あるいはJR奈良線利用）、「烏丸周辺」（地下鉄烏丸線利用）の3エリアのホテルが便利です。
- ✓ 京都市内が満杯の場合は、大阪方面、大津方面のホテルを利用することもできます。
 - ◇ 大阪方面
 - ・ 大阪駅（梅田）周辺からはJR新快速と地下鉄利用で約1時間。
 - ・ 淀屋橋・北浜・天満橋周辺からは京阪電車利用で約1時間。
 - ◇ 大津方面
 - ・ 大津駅周辺からはJRと地下鉄利用で約30分。
 - ・ 浜大津駅周辺からは京阪電車利用で約40分。
 - ・ 石山駅・瀬田駅周辺からはJRと地下鉄利用で約40分。

6. 統一論題、自由論題の研究発表およびポスターセッション発表者の募集

発表ご希望の方は、別紙「日本広報学会第23回研究発表全国大会発表申込書」に必要事項をご記入の上、学会事務局にご提出ください。また、下記を厳守願います。

- (1) 口頭発表は質疑応答を含み30分の予定です。
- (2) 発表の申込期限は7月31日(月) 17:00です(必着、期限厳守)。
- (3) 発表テーマと要旨400字以内にまとめ、FAXまたはメールにて提出してください。
- (4) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (5) 口頭発表の時間は、第2日11月19日(日)に設けます。
- (6) 発表の可否については大会運営委員会で決定し、ご本人に連絡します。
- (7) 大会で優れた発表をされた報告者に対しては、学会誌への投稿をお願いする場合があります。
- (8) 発表は大会中1名1件に限ります。ただし、ポスターセッション発表は別枠とし、ポスターセッションでもう1件発表しても構いません。

7. ポスターセッション発表について

- (1) ポスターセッション発表は、A0判ポスターを貼る展示パネルを用意します。
- (2) 申込期限、テーマ・要旨の提出などは口頭発表の申し込み方法と同様です。ポスター発表も口頭発表同様、予稿集に予稿、発表者氏名、発表タイトルが記載されます。
- (3) ポスターは各自ご準備ください(PPTなどでも構いません)。事務局、大会運営委員会では印刷いたしません。
- (4) ポスターは第1日11月18日(土)の午後から掲示を行ってください。報告者の責任在籍時間(立会説明時間)を設けます。第2日の12:20~13:30です。
- (5) 口頭発表1件、ポスターセッション1件まで、応募可能です。
- (6) 2016年度、2017年度「研究事例・交流部会」「学会助成研究」の代表者の皆様には昨年同様、ポスターセッションでの研究報告(結果報告又は経過報告)をお願いします。詳細については別途連絡します。

8. 予稿について

発表予定者には予稿(発表予定原稿)を作成していただきます。予定者には、あらかじめ執筆要領を送ります。

- (1) A4、2頁または4頁(図表、注、文献を含む)。PDFの完全原稿を提出すること。
※モノクロで印刷しますので、グラフなどの色使いや写真のコントラストにご留意ください。
- (2) 予稿の提出期限は8月31日(木)です(必着、期限厳守)。
- (3) ポスター発表でも原稿をご準備ください。

9. 口頭発表、ポスター発表の発表者の応募資格

口頭発表に応募される方は、以下の条件を満たしている必要があります。

- (1) 2017年6月6日現在、日本広報学会の会員、法人会員代表、法人会員登録者。ただし、2016年度までの年会費に未納がないこと。
- (2) 2017年8月31日までに日本広報学会の入会申込書を事務局に提出し、2017年度分の会費を納入した者。

ポスター発表は学会員でなくても応募できます。学部、修士課程の学生、企業・実務家の方の応募を歓迎します。

10. 大会の参加費・懇親会費等の申込要領

大会参加申込は別紙「第23回研究発表全国大会＜参加＞申込書」に必要事項を記入の上、所定の期日までにFAXまたはメールにて学会事務局にご提出ください。

- (1) 参加費・懇親会費：納入期日：10月31日（火）までの前納と、それ以降および大会会場における当日納入を選択してください。

		前納	当日
会 員	参加費	5,000 円	6,000 円
	懇親会費	5,000 円	6,000 円
学生会員	参加費	2,500 円	3,000 円
	懇親会費	2,500 円	3,000 円

- (2) 振込み先は以下の通りです。

銀行振込：みずほ銀行丸之内支店 / 普通口座2453666 / 口座名義 日本広報学会

郵便振替：口座番号 00150-6-540368 / 加入者名 日本広報学会

※ 複数名での同時振込は、明細が不明になりますので、ご遠慮願います。

※ 法人会員代表でない登録者のお振込みに際しては、個人名を先頭に記入(入力)してください。

※ 振込手数料は本人のご負担とさせていただきます。

- (3) 領収書：希望者には当学会発行の領収書（個人会員は個人名、法人会員代表・登録者は法人名）を発行しますので、事務局までお知らせください。

- (4) 予稿集は参加者1名につき1部を無料提供します。

追加でお求めの方には1部1,000円で販売します。

11. 宿泊先

宿泊先は各自でご手配ください。紅葉観光のトップシーズンに当たりますので、一日も早く確保されることを強くお奨めします。（前出のご案内をご参照ください）

12. その他

- ・11月18日（土）に弁当は手配しません。キャンパス内の食堂（22号館地下）、売店（学友会館1階）、コンビニ（セブン-イレブン、4号館地下）などをご利用ください。
- ・11月19日（日）は弁当を手配します。必ず第23回研究発表全国大会＜参加＞申込書にて事前に申し込んでください。
- ・大会プログラム・パンフレットの印刷・事前配布はしません。プログラムの詳細はホームページ、メールでお知らせします。

＜8月まで本件のお問い合わせ・ご連絡先＞ 日本広報学会 事務局

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-2-7 第二浦野ビル402

TEL:03-5283-1104 FAX:03-5283-1123 E-mail:jscsty@gamma.ocn.ne.jp

住所移転の為、9月以降はホームページ上でご連絡申し上げます。

※ 今回のお知らせでは、プログラム等に未定部分がありますが、確定次第当学会ホームページで最新情報を掲示します。 ホームページアドレス：<http://www.jscs.jp/>

以上